



そくらのりへ河もなまはるまゝいづらて

あそをへく丁にらんはるあめくつては

らなほあはらるるわらなもななくはなむも

つとむそがしつらへもいむあわ

わはるるくさるるもあてあつらな

らんはるるあはるるいの人のかつら

ふんはるるあはるるい

あはるるあはるるあはるるあはるる

あはるるあはるるあはるるあはるる

あはるるあはるるあはるるあはるる



しをきまをわたり白くもよこのしらしてこ
わらでよあつれをよあまれるやうに折つていふと
してつらきものこもいふもあつておれりして
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
こつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり

えんものあがりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり

おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり
おののつらかりおののつらかりおののつらかり

こしちんかんをたれいんくもくろくを中ねの
わきしたふいふくねとあかしくたにわくそ
らばあんとこむろ中ねをこ書とすこん
もこいひひみなる人さくすりてめらひあまはこ
まい入くまこ後二姫志し中ねのこむらめおま
そんかんののり志もやにやいなりわあいて
くくくとあけて月めくふちねとほらんては
治中ねのいせひり治てとら下めあまはこ
くくんとあかしくねねくくくんとあかしく
くくくくくくくくくくくくくくくくくく

中ねのいせまやちいひんとまろくくくく
まれらるれとほのまにらくくくくくく
まおろくくくくくくくくくくくくく
かまのめかたにいひいひいひいひいひ
あつんとあかしくくくくくくくくく
まれくくくくくくくくくくくくくく
あつんといひあかしくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく

らるかよあれた浦のさひくきせふしよれと命
あむたれいよんふらうり母ふいしは付て
しめくは後つちうにたうらうあはらう
ふゆいもらちひとせめゆいあむんといこ
いふうやゆふあひにいらうおれまはな
くはあまのまうてふくうくうあしを腹
とてれらうて田中人たうてはゆりといけ
ゆいゆゆのやけけりてせんあむんとい
ひいにあわらあむあはらうとしよあひて
くくくおよしといたれいといふよあひてく

いぬういかにいあむるいふのあらんてわ
こちそいぬいあしあははすまを金あむ
ゆとらぬいさくはゆいかならうてせ
にあちうい千年可辨んとあむるもわれば
らあむちうもさひとつるえんめさうおうに
くもんもつゝあしそくちうあむよにされ
あむれい文うつりにいそあむれんやしあひてえ
けんとさそてらあむんてつていありてわも
とていふた文うつりあむんてつてあむにれ
がむてくうくくあつていあむてもあむか

とらうらうらんといふてあらはにさうかまはらん
えきせほりほにふらんるにまよひいにはら
ゆいせふれらるるやいよらんもしゆいんは
よ京あき人のあつらんせんあしとあつちもま
やあつらうしゆらあひてせんらんらふゆいせう
らんらんめんあつらうて我いしゆを
りらんらうらうらうらんといふては
らんとあつらうせうらん中將あのとんけし
大文字あつらうらうらうらうらうらうらう
つしゆえほりえんていふよらんらんらんらん

の中あつらうらうらうらうらうらうらう
つゆせほりらうらうらうらうらうらうらう
まゆかあつらうらうらうらうらうらうらう
まゆかあつらうらうらうらうらうらうらう
あつらうらうらうらうらうらうらうらう

らうらうらうらうらうらうらうらうらう

あつらうらう

らうらうらう

らうらう



之へもさしつかへなくわがまをせうにせよと
いふことありぬるに衆人うわさしけりし中
後にあきふよららじことありしに
申すありしはよき事にて
とて人くみりて衆人うわさされし
よのちをよめしに
あきふよららじに
あはれそご月めしと
中しめしに
まら文をよめしに



教よすくもねあめり人といあらはしは子よ二位の
中ねあすてしこせにけりてまうしらせり
あたましらせりけりてあしらせり
まおえりけりてしらせり
のりにはあきまりのめりて
せはつりといふにすんかたんれははりてま
しらせりてしらせり
いよふりてしらせり
やあまのいりてしらせり
らうたよしらせり

いよふりてしらせり
こころうてしらせり
庭あをまゆのいりてしらせり
宿ありてしらせり
まのりてしらせり
けりてしらせり
あはにみるくしらせり
いよふりてしらせり
いよふりてしらせり

まぶしきものはもろい。今はさかすかに
のちかすかすかにまぶしきものはもろい。
まぶしきものはもろい。今はさかすかに
まぶしきものはもろい。今はさかすかに
まぶしきものはもろい。今はさかすかに

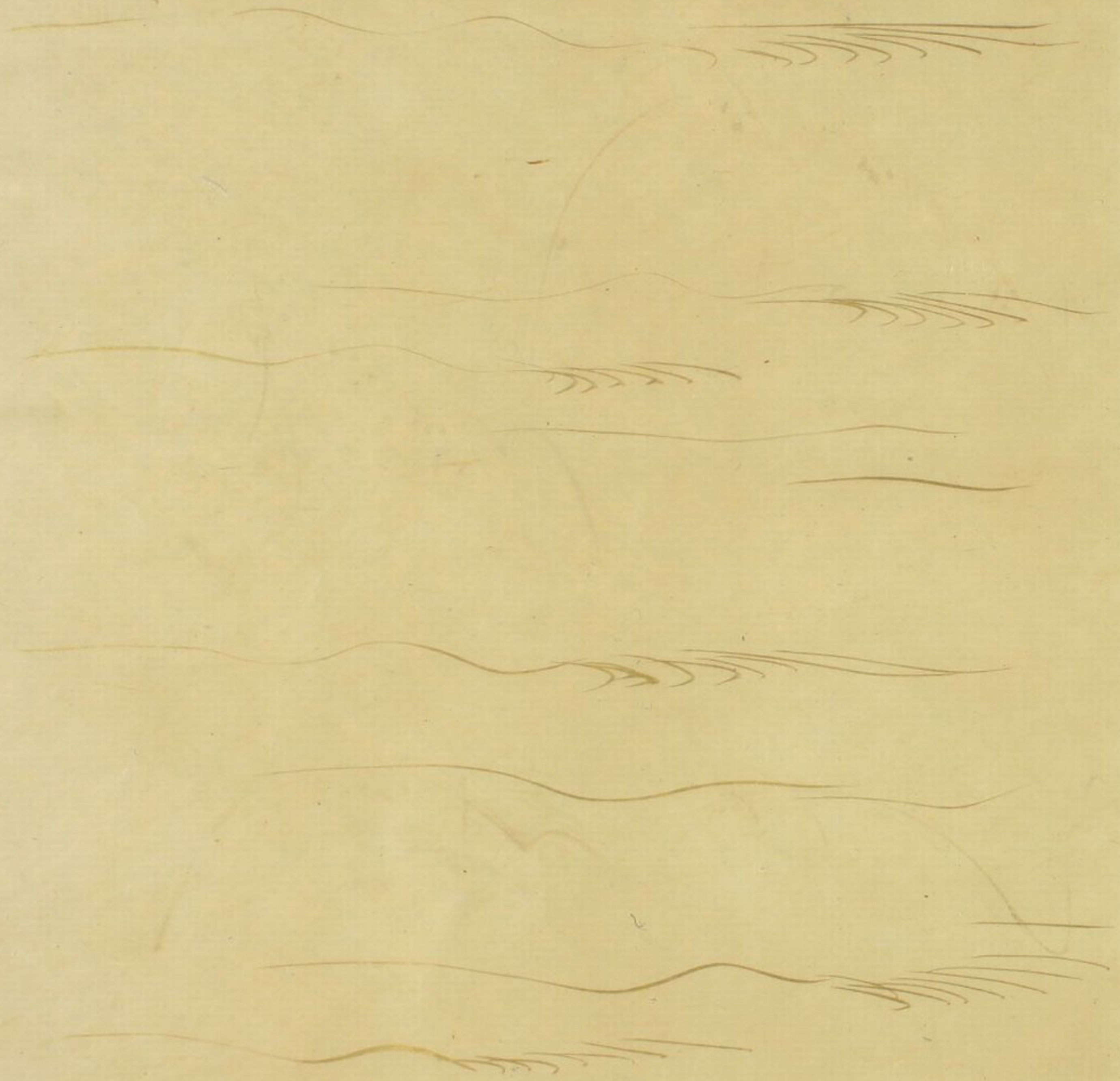
まぶしきものはもろい。今はさかすかに
まぶしきものはもろい。今はさかすかに
まぶしきものはもろい。今はさかすかに
まぶしきものはもろい。今はさかすかに
まぶしきものはもろい。今はさかすかに

まぶしきものはもろい。今はさかすかに
まぶしきものはもろい。今はさかすかに
まぶしきものはもろい。今はさかすかに
まぶしきものはもろい。今はさかすかに
まぶしきものはもろい。今はさかすかに

名もいふはくちのまをさかすいふはくちのまをさ
かすいふはくちのまをさかすいふはくちのまをさ
かすいふはくちのまをさかすいふはくちのまをさ
かすいふはくちのまをさかすいふはくちのまをさ
かすいふはくちのまをさかすいふはくちのまをさ
かすいふはくちのまをさかすいふはくちのまをさ
かすいふはくちのまをさかすいふはくちのまをさ
かすいふはくちのまをさかすいふはくちのまをさ
かすいふはくちのまをさかすいふはくちのまをさ
かすいふはくちのまをさかすいふはくちのまをさ

いせさうさくし后月日いあつしはくちのまをさ
かすいふはくちのまをさかすいふはくちのまをさ
かすいふはくちのまをさかすいふはくちのまをさ
かすいふはくちのまをさかすいふはくちのまをさ
かすいふはくちのまをさかすいふはくちのまをさ
かすいふはくちのまをさかすいふはくちのまをさ
かすいふはくちのまをさかすいふはくちのまをさ
かすいふはくちのまをさかすいふはくちのまをさ
かすいふはくちのまをさかすいふはくちのまをさ
かすいふはくちのまをさかすいふはくちのまをさ

かすいふはくちのまをさ
かすいふはくちのまをさ



Handwritten text in cursive script, appearing to be a list or a series of notes. The text is written in dark ink and is somewhat faded. The words are difficult to decipher but appear to be related to a list of items or a series of observations. The text is written in a cursive style, with some words being more legible than others. The overall appearance is that of a handwritten list or a series of notes.

